



長久手町文化の家
NAGAKUTE Cultural Center

フレンズ

No. 34

2008年5月15日発行

機関紙フレンズ編集部

Tel : 0561 (61) 3411

フレンズ総会 4月5日に開催

10周年の節目を迎え いっそうの 充実を目指します

フレンズ第10回総会が4月5日の土曜日、午後7時から長久手町文化の家「展示室」で行われました。

来賓の川上實館長から「文化の家発足当時から、ともに歩んできたフレンズが、今年7月で設立10周年を迎える。お喜びを申し上げたい。2007年度の文化の家は、オランダバツハ協会による



フレンズ総会で 来賓あいさつをされる 川上實館長

『ヨハネ受難曲演奏会』や、町内一円を美術館に見立てた『ながくアートフェスティバル』など、

数々の企画が成功を収めた。こうした企画を含め、年度内の43にわたる事業に、フレンズがフロント運営を担当していただくなり、大きな力を発揮していただいた。フレンズは文化の家にとってかけがえのないパートナーです」と、心のこもったあいさつをいただきました。

総会はこのあと、2007年度の活動報告・会計報告を受けてこれを承認。続いて10周年記念コンサートの企画などを含む2008年度の活動計画を確認し、新役員を選出して総会の議事を終えました。

役員選出で、2008年度も引き続きフレンズ会長に就任した水野美々子会長は「10周

年を記念する大型企画である、8月の錦織健テノールコンサートをぜひ成功させたい。さらに、フレンズ会員の皆さんに楽しく親しんでいただける取り組みを進めたい」と、新役員を代表してあいさつしました。

尺八の音を楽しんだ

総会後のアトラクション

総会は予定した議事を終了した後、アトラクションに、ドイツ

出身で長久手町に在住するフランク・シェーファーさんの尺八によって『桜・刈切唄・虚空・深山ひぐらし』など、日本古来の尺八曲、そしてシェーファーさんの故郷ドイツの、バツハ作曲『G線上のアリア』などが演奏されました。

尺八はおもてに4つ、裏に1つの穴というシンプルな運指で演奏する楽器。音階が少ないため「首振り3年、コロ8年」と

いう独特な奏法が求められる日本人



尺八のフランク・シェーファーさん

でも扱う人が少ない楽器です。ドイツ人のシェーファーさんがこの楽器に魅せられたのは「シンプルだからこそ侘(わ)び・さびの世界がひろがる可能性を備えているから」とのこと。

尺八の師範免許を手にして「故郷に錦を飾るのが夢」と、少しつたない日本語の語りをまじえながらシェーファーさんの演奏が進み、暖かくおだやかな雰囲気になった演奏会でした。

2008年度フレンズ役員氏名

- 会長 水野美々子
- 副会長 福岡八重子(研修部部長)
- 副会長 梅田 小夜(事業部部長)
- 会計 山口 節子(事務局長)
- 青山つたゑ(当日運営部部長)
- 岩瀬 信廣(機関紙部部長)
- 鈴木多恵子(当日運営部 副部長)
- 阪上由美子(事業部副部長)
- 牧野 洋子(研修部副部長)
- 監査 瀬川 典子
- 監査 近藤 一英(文化の家職員)

文化の家 新職員のご紹介

4月に行われた長久手町役場の人事異動にともない、文化の家に、新しく3名の方が配属されました。今後、フレンズ会員の皆さんと、文化の家でのいろいろな取り組みに、協力・協働する機会が多いことと思えます。ぜひとも、よろしくお願ひします。



小林和美さん

管理係 主幹

4月の人事異動で、福祉課から文化の家に配属された小林和美（こばやしかずみ）です。

これまで文化の家は、仕事や個人での観劇・映像鑑賞会などで利用していました。

これからは、基本理念の「長久手文化の創造・交流・共有」をもとに、芸術文化の活動拠点として、もっと広く皆さんに利用していただくよう努め

ていきたいと思ひます。

フレンズ会員の皆さんには何かとお世話になります。よろしくお願ひいたします。



近藤一英さん

管理係 フレンズ担当

このたび、異動で文化の家に配属されました近藤一英（こんどうかずひで）です。

個人的には美術鑑賞やコンサートが好きで機会あることに出かけています。

この文化の家は、ホールはステージが近くて鑑賞しやすく、アトリビングは幅広い

世代の人たちが利用していても賑わっているという印象です。自主事業では、ワークショップなど鑑賞だけではなく一味違った試みもあり楽しませてもらいました。

これまでは鑑賞者の立場でしたが、これからはお客様を迎える側として頑張りたいと思ひます。

至らない点が多々あるとは思ひますが、みなさんが気持ちよく来館いただけるよう努めてまいります。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひします。



神藤貴司さん

事業係 落語・講座
美術担当

4月1日から文化の家事業係に配属されました神藤貴司（じんどうたかし）です。

長久手町役場に入庁したのが平成12年、経済課・産業観光課・税務課を経て、今年が9年目となりますので、10周年を迎える文化の家は自分にとって、常に先を走り続け

ていた兄弟姉のようなものに思えます。

皆さま方の力となれるよう努力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

錦織健さんを迎えて フレンズ10周年 記念コンサート

会員の皆さんのかで
成功を目指しましょう

◆ チケット発売中

フレンズ会員 割引入場券
3,500円

- 5月10日以降は枚数に制限なしで購入できますが、割引の3,500円で購入できるのは会員一人につき1枚までで、2枚目からは一般と同額の4,500円です。

8月3日 日曜日(午後5時開演)、長久手町文化の家森のホールで、オペラ歌手錦織健さんを迎えて「フレンズ10周年記念コンサート」を開催します。

錦織さんは、テレビや舞台で盛んに活躍され、国内では人気・実力ともにトップクラスのテノール歌手です。

コンサートでは、日本人の心の中にながく歌い継がれ

てきた歌曲や最近の叙情歌、さらに、錦織さんが得意とするオペラのアリアなどを聴かせていただけます。

現在、チケット発売中です。会員の皆さんのご参加はもちろんのこと、まわりの方もお誘いいただき、コンサートの成功にご協力いただくよう、お願ひします。

フレンズの各部紹介 第1回 当日運営部

催し物の会場で
大きな役割を發揮



「いらっしやいませ」と声をかけながら、チケットを拝見し、パンフレットなどをお渡しします

フレンズには、当日運営部・事業部・研修部・機関紙部の4つの部があります。

この各部をシリーズで紹介しますが、今回はそのひとつ「当日運営部」を紹介します。

当日運営部とは

文化の家の自主事業として催される公演の「ホールスタッフ」を担当するのが「当日運営部」の主な任務です。

2007年度では文化の家の43事業70ステージのホール運営をのべ507人の参加者で担当。長久手町の事業では、4事業のべ24名の参加によって担当しました。



ホールスタッフの内容は

ホールスタッフの具体的な内容は、催し物の際にホール入口で入場券のチェックと、もぎり。お客様へパンフレットの手渡し。ホール扉の開閉、客席へ案内などの場内誘導。上演中の場内見守り、さらに非常時の入場者の安全確保などがあります。

接遇の基礎も学びます

文化の家の公演などにいらした方が、気持ちよく過ごしていただけるよう、ホールスタッフを担当するには、それにふさわしい接遇のマナーを身につけることが必要です。そのために、文化の家で開催された専門の講師による研修会にもスタッフの希望者が参加し、接遇の基礎を学ぶことができました。

マニュアルもつくって

10年を経て、もういちど基本を大切にするため、研修会



客席でのご案内などもします

などで学んだこと、10年間の実体験から学びとったことをもとに、接遇のマニュアルをつくらうと「マニュアル作成委員会」を設け、取り組みを進めていて、まもなく完成の予定です。

このマニュアルができあがれば経験の長いスタッフは、あらためて自分の接遇を振り返る手がかりとなり、参加し

長久手町文化の家

藤井事務局長のおはなし

文化の家で行われる公演などの事業は、アーティストと会館の担当者だけでは成立しません。

アーティスト・観客・会館管理者・そして観客の接遇に当たるホールスタッフの4つがきちつとかみ合ってはじめに公演が成り立ちます。

フレンズには文化の家発足以来ホールスタッフを担当していただき、公演を成り立たせるうえで、大きな役割を果たしていただけてきました。

て間もないスタッフには、貴重なテキストとなることでしょう。

お客様の声にはげまされ

ホールスタッフを担当して、お客様から「ありがとう」「楽しかったわ」と声をかけていただくと、このうえない喜びを感じ、いっそう頑張ろうという励みにもなります。

この活動の実績は、近辺でのホール運営のひとつのモデルになっているといっても過言ではありません。

最近、住民と行政の協働が盛んに言われますが、住民と行政が協働して、長久手町に文化的なものを創造していく、ひとつの優れた具体例といえるのではないかと思っています。



マイケル・ムーア最新作

映画 **シッコ SICKO**

『ボーリング・フォー・コロンバイン』でアカデミー賞長編ドキュメンタリー部門に輝いたマイケル・ムーア監督の、大いなる矛盾を抱えるアメリカ医療システムにメスを入れるドキュメンタリー映画

5月24日(土) 10:00～ / 14:30～
風のホール
— 一般:500円 フレンズ:400円(前売のみ)
全自由席

長久手フィルハーモニー管弦楽団
第10回定期演奏会

モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲
メンデルスゾーン:バイオリン協奏曲
マーラー:交響曲第1番 ニ長調「巨人」

5月25日(日) 午後2時30分開演
森のホール



前売 — 一般:800円
 フレンズ:700円
当日 1,000円
全自由席

初夏の松阪 よくばり探索

フレンズ会員 町外研修 参加者募集!

- 日時 5月29日(木)
8時00分 文化の家 東玄関前集合
- 行き先 松阪農業公園「ベル・ファーム」
(ハニーキャンドルづくり体験と
バイキングで昼食)
松阪城跡 本居宣長記念館 見学
- 参加費 2,500円(当日集金します)
- 申込み先 5月3日(土)から 文化の家 窓口

編集者コラム

フレンズの会合で「機関紙が定期的に届くから、フレンズとつながっていることを実感できる」と、編集者にはうれしいことばを頂戴し、なによりの励みとなった。

4月から機関紙スタッフの人数も増え、編集チームのさらなる充実を予感する。

会員の皆さんとフレンズとを結ぶ「架け橋」を目指し、いっそう頑張りたい。



競馬予想屋人情喜劇

そのまま!

脚本:水谷龍二 演出:加納新平

6月21日(土) 午後2時開演
森のホール

出演 ベンガル 藤谷美紀 山田まりや 大沢健
小宮孝泰 デンデン ほか

指定席 前売 — 一般:4,000円
 フレンズ:3,500円
 当日 4,500円
自由席 前売 — 一般:3,000円
 フレンズ:3,000円
 当日 3,500円

枯れ木も山の...

ほっと
すぺーす

長久手在住 青山 宏

ワぁ、もうすぐ演奏会だ! 今度も難しいな、弾けない、練習しないと...焦りが諦めとなり、さあ本番...
40歳の頃、瀬戸市民オーケストラができ、オーケストラで弾いてみたい、また老後の趣味にとの思いもあり入団を決意しました。バイオリン系の楽器の経験はありませんでしたが「団で指導するのでどうぞ」との暖かい言葉、希望のピオラパートに入団することができました。
しかし、それが苦勞の始まり、そうそう簡単に弾けるものではありません。「恥ずかしい」という言葉も忘れ、必ず練習に参加するぞと心に決めて苦節?年、何度もやめたいと思

ったこともありましたが仲間につ張られ今日まで続けてくることができました。考えても悩んでも仕方がありません「ただただ続けること」これが最も大事なことでなかったかと、いま思っています。
平成12年に長久手フィルハーモニー管弦楽団が結成されたのを期に、まわりの迷惑も顧みず「枯れ木も山の...」と参加させていただいています。今後も可能な限り、続けて行きたいと思っています。
5月25日に第10回定期演奏会を森のホールで行います。本番を控え団員一同張り切って練習を行っています。多くの方に聴いていただければ幸いです。